

7月29日(土)に開催しました

# 第3回 佐鳴湖未来へつなぐネット 佐鳴湖周辺の歴史と文化 ～ナウマンゾウから直虎・家康まで～

佐鳴湖未来へつなぐネットは、佐鳴湖地域協議会が主催するイベントで、市民の佐鳴湖に対する関心を高めると同時に、市民・企業・行政が情報共有し、佐鳴湖の環境を向上させるための市民による主体的な取り組みについて意見交換することを目的としています。第3回は佐鳴湖周辺の歴史と文化をテーマに開催しました。



1

博物館で見よう！

博物館で展示物の解説



## ■ ナウマンゾウから直虎・家康まで

浜松市博物館の展示を詳しく解説いただきながら、ナウマンゾウから直虎・家康までの佐鳴湖周辺の歴史や文化について教えていただきました。その一部を紹介します。



ナウマンゾウは、今から数十万年前から2～3万年前に生息していました。佐鳴湖周辺から引佐あたりまでは入江で、ワニなどの化石も見つかっています。本州で最も古い人類は、今から1万8千年前の浜北人です。太古から、佐鳴湖周辺でも人類が生活していたことが伺えます。



蜆塚遺跡は、縄文時代の後晩期、西暦で4千～3千年前の遺跡です。当時は、どんぐりやクルミを採集し、獣や魚を狩り、主に自然の恵みを得て生活をしていました。集落の真ん中に広場があり、それを取り囲むように住居、墓、貝塚が発見されています。このような集落の景観がはっきりと分かる遺跡は少ないため、国の史跡に指定されています。



中世は、武士が登場し、浜松周辺には国衆と呼ばれる地域を治める武士がいました。その一つが井伊氏で、滅亡の危機を迎えるなか、直虎という城主が現れ、その後を継いだ井伊直政は徳川四天王という重臣に成長しました。戦国時代が終わり、徳川家康が徳川幕府を築くと、浜松城下は大きな宿場町として発展しました。

参加者の声（アンケート結果）

- ・展示品の一部についてより深く理解でき、興味を持った。
- ・大昔からの地元の歴史の概要がわかり、参考になった。

## 2 外で見よう！

浜松医療センター付近（太刀洗いの池）まで散策



- 町にみる佐鳴湖周辺の地形と成り立ち
- 身近にある直虎・家康時代の歴史遺構

博物館から浜松医療センター付近まで散策しながら、佐鳴湖周辺の地形の特徴や、徳川家康の正室築山殿を殺害した家臣が刀を洗ったという太刀洗いの池について、浜松市文化財課からお話をいただきました。

佐鳴湖周辺の谷地形は、土地の隆起と沈降が繰り返され、また河川による侵食と堆積によって形作られました。また、豊富な湧水もありました。

太刀洗いの池は、築山殿を殺害した刀を洗った後、赤黒く濁っていましたが、その後の法要により濁りが消えたという伝承が残され、地元の人々に長く守り伝えられてきた場所です。

参加者の声（アンケート結果）

- ・詳しい説明を現場で聞いたことが良かった。
- ・いままで知らなかった浜松の魅力をたくさん知ることができた。

## 3 もっと見よう！

浜松医療センター付近（看護専門学校）で講座

- まだまだある佐鳴湖周辺の文化財
- もっと多くの人に佐鳴湖周辺の歴史、文化を知ってもらうには？

家康在城時の浜松城、両光寺や龍雲寺の仏像、入野古墳、入野八幡神社の楠など、佐鳴湖周辺の文化財について、さらに教えていただきました。

最後に、もっと多くの人に佐鳴湖周辺の歴史、文化を知ってもらうために何ができるか、意見交換をしました。



主な意見

- ・全国的にも素晴らしい歴史や文化があり、知らないのはもったいない。
- ・説明看板の表記をもっといいいにして、わかりやすくしてはどうか。
- ・広報はままつ、出前講座などでもっと宣伝してはどうか。
- ・博物館に来て学ぶこと、そしてそれを人に伝えること。



参加者は、佐鳴湖周辺の歴史的、文化的魅力について、専門家の詳しい解説を聴き、また実際に歩いて体感し、理解を深めていました。アンケート結果から、今後もさらに学んで知識を深めるとともに、佐鳴湖周辺を訪れ、家族や友人などに佐鳴湖周辺の魅力を伝えていただくことが期待されます。今後も、総合的なアプローチから、佐鳴湖の水環境を向上させ、市民に親しまれる佐鳴湖として、新たな歴史と文化を後世に伝えていくことが大切です。

これからも様々なテーマを取り上げて開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

佐鳴湖地域協議会 事務局 浜松土木事務所企画検査課（TEL. 053-458-7266）

浜松市環境保全課（TEL. 053-453-6144）